

花ごよみ 12月

2024年
11月27日
262号

発行：公財）東京動物園協会 井の頭自然文化園

葉が落ち木々が色を失うなか、冬に陽が照らすツバキの艶やかな緑がひと際映えます。
この冬は、園内のツバキ園や名木に足を運んでみてはいかがでしょうか。

ツバキ園

300本ほどのツバキが晩秋から春にかけて咲きます。江戸時代に作られた品種群「江戸椿」のうち、約50種が植えられています。



乙女椿（オトメツバキ）

晩秋から咲き始めます。江戸時代から親しまれた品種で、海外にも多く輸出されました。



王昭君（オウショウクン）

12月頃から楽しめます。花卉の重なりが多い千重咲き品種です。

A



ビワ（枇杷）

葉や実の形が楽器の琵琶に似ているところから名付けられたようです。ビワの実が初夏の果物ですが、花は冬に咲いています。

B



ヤエザキスイセン（八重咲水仙）

地中海沿岸原産で1茎に1花が咲きます。学名 Narcissus は、ギリシャ神話に登場する美少年ナルキッソスに由来します。

文化園の名木

ブナ（樺）

推定樹齢が170～200年で幹周りは約215cmあります。井の頭池周辺が江戸の水源地として保護されていた頃からの樹木です。元々山地に多く見られるブナですが東京の平地に残されているものとしては大変希少です。

1



最新号や過去の「花ごよみ」をスマートフォンでご覧になりたい方は、右のQRコードより公式HP、「東京ゾーネット」にアクセスしてください。

